

町内での再エネ自給率100%を目指した 取り組みと企業皆様へのご協力依頼

令和5年8月24日
北海道せたな町



ZERO CARBON
HOKKAIDO
SETANA

1. 北海道せたな町の紹介と企業様への期待概要

【せたな町の概況】

人口・面積

7,051人・638km²
(令和5年6月末時点)

地勢・自然環境

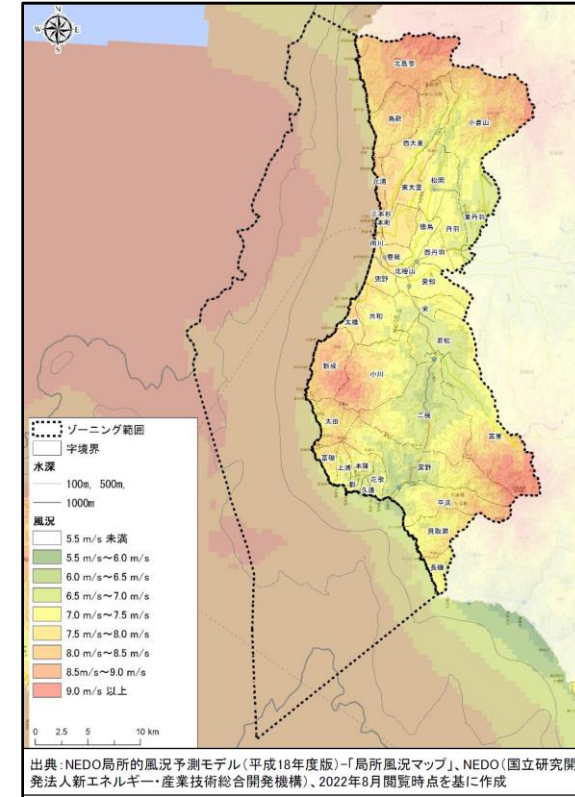
- せたな町は北海道の南西部、日本海に面した檜山（ひやま）振興局管内の北部に位置
- 平成17年9月に大成町、瀬棚町、北檜山町の3町が合併して誕生

脱炭素化の取組

- せたな町は1年を通して風況がとても良く、そのポテンシャルを活用し、町営で日本初の洋上風車である「風海鳥」を所有している
- 令和3年度にはゼロカーボンシティ宣言を行っている
- 令和3年度から令和4年度にかけて、環境省の補助金を活用し、「せたな町地域エネルギービジョン」の策定と「せたな町再生可能エネルギーに係るゾーニング」を実施し、HP上で公開している
- 今年度中には地方公共団体実行計画（区域施策編）を公表する予定



● NEDO風況マップ（せたな町）



【せたな町地域脱炭素において民間企業様に期待すること】

- (1) 町所有の洋上風車（風海鳥）の2023年12月FIT終了後の今後の取扱について、より良い活用方法があればご提案いただきたい
- (2) 町内再エネ自給率100%を目指して、地域新電力で活用する再エネ電源の設置・運営、町内利活用方法について町民協同型のご提案をいただきたい

2. せたな町の脱炭素に向けた課題と企業様への期待

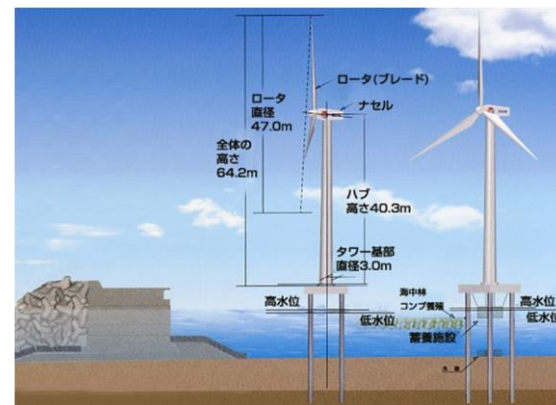
(1) 町所有の洋上風車（風海鳥）の今後の取り扱いについての検討

町が取り組みたい事項①

日本発の洋上風車（風海鳥）の卒FIT後の利活用（2023年12月にFIT終了）

風海鳥について

- 風海鳥は、平成16年に稼働を開始した洋上風車であり、瀬棚港の港湾内に設置されている
- 設置されている瀬棚港は風況が良く、令和3年度の設備利用率は年平均で約34%となっている
- 風海鳥は、日本初の洋上風車がある町の観光資源として効果を発揮しているほか、民間の風力発電事業の誘致に繋がり、事業所の進出、雇用の増加、固定資産税の増加等、建設したことによる効果やメリットは数多くある。
- 一方、洋上に設置されているため、悪天候時にはメンテナンスができないなど、洋上風車特有の課題やデメリットも抱えている



2. せたな町の脱炭素に向けた課題と企業様への期待

(1) 町所有の洋上風車（風海鳥）の今後の取り扱いについての検討

町の課題

- 町としては日本初の洋上風車を引き続き利活用を行い、今後のゼロカーボンシティの実現に向けたシンボルの一つとしていきたい
- 一方、現在2基（600kW×2基1,200kW）のうち1基が故障中であり、町として修繕か撤去かの判断が必要となっている
- また、どちらの場合も台船を使用する必要があると見込んでおり、多額の事業費が必要となる

企業様へ期待すること

- 洋上風車の今後の取扱いに関しより良い活用方法についてご提案いただきたい
- 例えば、「事業者への譲渡を前提に、既設撤去後に新たな新設風車の設置（建替え）等」、修繕と撤去以外の新たな選択肢の提案を期待したい
- また、修繕や撤去の方法についても、より経済的な方法等があればご提案いただきたい
- 特に、全体的な考え方（現状～今後）についてのご提案をいただきたい

2. せたな町の脱炭素に向けた課題と企業様への期待

(2) 町内再エネ自給率100%を目指して、地域新電力で活用する再エネ電源の設置・運営、町内利活用方法について町民協同型のご提案

町が取り組みたい事項②

町内業者との共同型によるP P A事業の実現

町の課題

- 現状、町内には太陽光発電施設の設置業者やP P A専門の事業者がいないため
 - ・ 太陽光発電施設の設置やその後のメンテナンス
 - ・ 設置した需要家との電気料金の取引
 などについて、町民および町内事業者を含めた再エネ導入の実施取り組みが必要

企業様へ期待すること

- 町内事業者による町内への再エネ導入の手助けとなる様にご提案をいただきたい
 (町内事業者のみでは、太陽光発電施設の設置や電気料金の取扱等を含むP P A事業のノウハウが無いため町内事業者と共同で取組めるご提案をいただきたい)

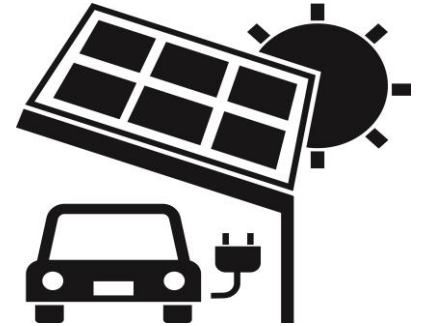


2. せたな町の脱炭素に向けた課題と企業様への期待

(2) 町内再エネ自給率100%を目指して、地域新電力で活用する再エネ電源の設置・運営、町内利活用方法について町民協同型のご提案

町が取り組みたい事項③

再エネ電源の供給と災害時の非常用電源の確保



町の課題

- I .町内への電力供給用自営線の設置や、災害等の緊急時の電力供給の仕組み作り
- II .地域新電力で活用する再エネ電源の確保（町有地へのカソーラー施設設置など）
- III .再エネ電源活用を前提とした、電気自動車等への充電スポットの整備

企業様へ期待すること

- I .災害時の停電時を想定し、避難施設や役場庁舎（支所含む）への自営線による電力の供給や、蓄電池の設置による緊急時での電源の確保についての仕組み作りのご提案
- II .町有の遊休地（優先候補は町内4カ所）への太陽光発電施設の設置と、自営線による電力供給に係る再エネ電源としての活用を考えた際の全体的な枠組みのご提案
- III .まずは役場本庁舎の駐車場への設置実現に向けたご提案、また、災害時に非常用電源としての活用可能方法についてもご提案をいただきたい

2. せたな町の脱炭素に向けた課題と企業様への期待

(2) 町内再エネ自給率100%を目指して、地域新電力で活用する再エネ電源の設置・運営、町内利活用方法を町民協同型のご提案

町が取り組みたい事項④

現在策定中の地球温暖化対策実行計画に係る、地域脱炭素促進事業の推進・実行

町の課題

- 町が実施した陸上風力・太陽光発電事業に係るゾーニング結果を活用して促進区域の設定を進めている
- 促進区域を中心として、地域への貢献や町の脱炭素事業へご協力頂ける再エネ事業の推進が必要となる

企業様へ期待すること

- 町が今後公表する促進区域内にて再エネ導入を検討頂き、地域の活性化に貢献・ご協力していただける企業様の参画や、事業ご提案を期待しています
せたな町マスコットキャラクター セターナちゃん
 (特に、地元企業としてせたな町民・事業者と協同して進めて頂ける事業)

再エネに関するせたな町へのご質問・お問い合わせは、
【まちづくり推進課再生可能エネルギー推進室 佐藤】までご連絡ください

